

平成 2 4 事業年度

# 決算報告書

第 9 期

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

国立大学法人千葉大学

## 平成24年度 決算報告書

国立大学法人 千葉大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	17,099	17,104	5	(注1)
うち補正予算による追加	△ 832	△ 832	-	
施設整備費補助金	4,865	1,146	△ 3,719	(注2)
うち補正予算による追加	2,962	-	△ 2,962	(注3)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,803	2,011	208	(注4)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	81	81	-	
自己収入	35,593	37,313	1,721	
授業料、入学料及び検定料収入	8,329	8,262	△ 67	(注5)
附属病院収入	26,871	28,434	1,562	(注6)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	392	618	226	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,169	4,376	206	(注8)
引当金取崩	112	195	83	(注9)
長期借入金収入	1,487	242	△ 1,245	(注10)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	125	337	213	(注11)
計	65,335	62,806	△ 2,528	
支出				
業務費	51,462	52,507	1,045	
教育研究経費	23,822	23,027	△ 795	(注12)
うち設備災害復旧事業	31	36	5	
診療経費	27,640	29,480	1,840	(注13)
施設整備費	6,434	1,469	△ 4,964	(注14)
うち施設災害復旧事業	19	17	△ 2	(注15)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,803	2,011	208	(注16)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,169	4,116	△ 53	(注17)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,467	1,458	△ 8	(注18)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	65,335	61,563	△ 3,772	
収入 - 支出	-	1,244	1,244	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していた前期からの繰越額が5百万円多額であったため、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として予算段階では予定していなかった補助金の増加及び事業の一部を平成25年度に繰越したため、合算して予算額に比して決算額が3,719百万円少額となっております。
- (注3) うち補正予算による追加については、事業全てを平成25年度に繰越したため、予算額に比して決算額が2,962百万円少額となっております。
- (注4) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金等を獲得したため、予算額に比して決算額が208百万円多額となっております。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として入学者数及び志願者数が見込者数を下回ったため、予算額に比して決算額が67百万円少額となっております。
- (注6) 附属病院収入については、主として病床稼働率及び患者数の増等に伴う増収が当初の見込額を上回ったこと等により、予算額に比して決算額が1,562百万円多額となっております。
- (注7) 雑収入については、主として学校財産貸付料収入、TLO事業収入及び亥鼻地区駐車場収入の増により、予算額に比して決算額が226百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託研究・共同研究の産学連携の推進や奨学寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が206百万円多額となっております。
- (注9) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金及び賞与引当金の取崩を行ったため、予算額に比して決算額が83百万円多額となっております。
- (注10) 長期借入金収入については、事業の一部を平成25年度に繰越したため、予算額に比して決算額が1,245百万円少額となっております。
- (注11) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩を行ったため、予算額に比して決算額が213百万円多額となっております。
- (注12) 教育研究経費については、主として復興関連事業の平成25年度への繰越し、また退職手当及び特別経費を便宜上教育研究経費に予算計上していたこと等により、予算額に比して決算額が795百万円少額となっております。
- (注13) (注6)に示した理由による附属病院収入の増収に伴う支出額の増等により、予算額に比して決算額が1,840百万円多額となっております。
- (注14) 主として(注2)及び(注10)に示した理由により、予算額に比して決算額が4,964百万円少額となっております。
- (注15) 主として(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。
- (注16) 主として(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が208百万円多額となっております。
- (注17) 主として(注8)に示した理由及び複数年にまたがる研究の受入増により、予算額に比して決算額が53百万円少額となっております。
- (注18) 長期借入金償還金については、主として借入金額の変更に伴う支払利息の減少により、予算額に比して決算額が8百万円少額となっております。